ホスピタルシアタープロジェクト 2019
シャロームみなみ風

多感覚演劇（たかんかくえんげき）

カントリー・ガーデン

エリザベスおばさんの不思議（ふしぎ）ななかまたち

～劇（げき）をみるための準備（じゅんび）ノート～

劇(げき)を観(み)ます。会場(かいじょう)は、シャロームみなみ風(かぜ)です。

みなさんをお迎(むか)えするのはエプロンをつけた
おばさんです。

みなさんのおなまえをチェックして、お写真(しゃしん)を
パチリ。

センターのなかはお花(はな)と緑(みどり)でいっぱい。

芝生(しばふ)のうえで遊(あそ)んでもいいですよ。

なにがあるかな？

このおばさんも一緒(いっしょ)に遊(あそ)びますよ。

おねえさんたちがやってきて、
音楽(おんがく)を奏(かな)ではじめます。

お星(ほし)さまの形(かたち)をした光(ひか)るものをもって
妖精(ようせい)たちがやってきて、みなさんと遊(あそ)びます。

劇(げき)は、エリザベスおばさんのおうちのお庭(にわ)ではじまります。

おばさんがすやすや眠(ねむ)っていると、
いろんな動物(どうぶつ)の声(こえ)が聞(き)こえてきます。
なんの動物(どうぶつ)かな？

エリザベスおばさんは、黒(くろ)ネコのフロッグ君、
カエルのキャット君と暮(く)らしています。
あれ？　ネコのフロッグ君が変身(へんしん)？

また、ふつうは目に見えないけれど、

エリザベスおばさんは３人(にん)の妖精(ようせい)さんたちとも

一緒(いっしょ)に暮(く)らしているんです。

たくさんのお花のアーチで
妖精たちが踊ります。

エリザベスおばさんはお洗濯、ごしごし。
ネコのフロッグ君も、カエルのキャット君も
お洗濯、ごしごし。

みなさんもお洗濯、ごしごし。

お洗濯のあとは、
おひさまのもとに干します。

お洗濯(せんたく)のあとは、ゴハン！

木(き)の食器(しょっき)がいっぱい。
木(き)のお皿(さら)と木のスプーンの
にぎやかなコンサート。

妖精(ようせい)たちも、みなさんも
ぐちゃぐちゃにして
まきちらしてしまいます。
だから、エリザベスおばさんは
「おそうじしましょう」

おそうじが終(お)わると
お野菜(やさい)の収穫(しゅうかく)です。

みなさんも収穫(しゅうかく)を手伝(てつだ)ってくださいね。

なにが採(と)れるかな？

いっぱいのお仕事(しごと)がおわると
エリザベスおばさんは
ねむくなってしまいます。

エリザベスおばさんがねむってしまうと
カエルのキャット君(くん)と妖精(ようせい)たちは
ご相談(そうだん)。

カエルのキャット君(くん)が
みなさんにお花をプレゼント。

すると、バラの妖精(ようせい)が踊(おど)ります。

はなびらがいっぱい。
みなさんの上(うえ)に、ひらひら。

さいごは、みなさんのおなまえの歌(うた)。

歌(うた)がおわると、劇(げき)はおしまいです。

みんなにさようなら。

作・編集：中山夏織

主催　特手非営利活動法人
　　シアタープランニングネットワーク
助成　アーツカウンシル東京